

文化の華を咲かせなむ

長町中学校伝統の合唱コンクールがいよいよ明日に迫りました。本番に向けて各学年、各学年で工夫された練習がなされています。今年の合唱コンクールは例年よりも1週間早く、練習期間も限られたものになり、大変だったと思います。いつも朝練習、そして放課後の練習に頑張ってきた皆さんの努力に敬意を表します。

先日実施した各学年リハーサルでは、それぞれの学年の特色が見られましたが、やはり、教室での練習とは異なる空間でもあり、緊張感や暑さもあり、今あるすべての力を出し切るところまではいかなかったようです。皆さんからは「全然だめです。」「微妙です。」等の言葉が多く聞かれました。しかし、リハーサルというのはまさしくそのようなためにあるのでしょうか。長年この行事に立ち会っていますが、リハーサルと本番は全く違います。昨日の練習ではやはり大きく変化しているクラスも多かったようです。

ところで、皆さんは、長町中学校の合唱コンクールの目的を知っていますか。本番を迎える前にもう一度考えてみましょう。合唱コンクールはすばらしいハーモニーを創り上げるという事だけではありません。この行事をとおして理解してほしい事があります。

- 1 合唱の練習と発表への取り組みをとおして、協力性、自主性、積極性を育み、学年、学級の連帯を深めていく事**
- 2 美しいハーモニーを自分たちの手で創り上げる喜びを感じ、表情豊かに表現する事**
- 3 それぞれの学年が練習成果を発表し、鑑賞し合うことにより、さらに美しい合唱をしようとする態度や、互いの演奏をたたえ合う姿勢を身に付ける事**

私たち、長町中学校の合唱コンクールには、上記のような目的があり、皆さんは知らず知らずのうちに日々の練習をとおして、1～3の目的達成に近づいています。皆さんの練習に対する姿勢を見ると、本当によく理解できます。とても価値ある姿だと思います。

そして、もう一度この行事の目的に立ち返ってみましょう。表現する側がいくらすばらしくても、それを受け取る側の姿勢が問われるのです。発表する側は、自分達の汗と努力の結晶をたった数分間で表現します。それを受け取る側には、さらに真摯な姿が求められます。表現する側のすばらしさがしっかりと受け止められたとき、会場が一つになり、感動も深まります。芸術や文化を高めるためには、双方向の心の通い合いが大切ですね。そして、これまで頑張ってきた事を全員で分かち合える事が大切だと思います。

長町中学校の合唱コンクールでは、会場が繁華街という事もあり、地下鉄での移動となります。900名の大移動となります。公共のマナーを守りましょう。昨年度はとてもスムーズにそしてマナーを守り移動できました。合唱コンクールの1日は会場の中だけではありません。すべての活動が合唱コンクールです。

明日、皆さんの美しい歌声が会場中に響く事を期待しています。そして、長町中学校の校歌にあるように、明日のコンクールでは、会場中に文化の華を咲かせましょう。